

平成29年度 高冷地水稻生育速報（第2報）

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況（6月15日調査）

1. 調査結果

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	33.9 (117%)	415 (126%)	4.3 (+0.0)	39.3 (+1.8)	7.0 (-0.5)
	前年	28.7	427	4.4	40.6	7.8
	平年	29.0	329	4.3	37.5	7.5
ひとめぼれ	本年	25.5 (99%)	439 (138%)	4.2 (+0.0)	36.6 (-1.7)	6.8 (-0.8)
	前年	25.7	444	4.3	40.6	7.7
	平年	25.7	318	4.2	38.3	7.6
たかやまもち	本年	30.8 (105%)	373 (131%)	3.6 (-0.6)	35.4 (-0.9)	6.9 (-0.8)
	前年	30.0	336	4.2	36.8	7.6
	平年	29.4	284	4.2	36.3	7.7
ひだほまれ	本年	30.1 (101%)	410 (147%)	3.7 (-0.3)	34.6 (-0.9)	7.4 (-0.4)
	前年	30.3	389	4.1	37.3	8.1
	平年	29.8	278	4.0	35.5	7.8

栽培条件：移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値：過去5年間(H24年～H28年)の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

6月上旬の平均気温は低く、特に最低気温は平年よりも低かった。日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

草丈、SPAD値は「コシヒカリ」は平年より高いが、他の品種は平年並みである。分けつはすべての品種で平年より多くなっているが、葉齢は昨年よりも少なくなっている。

3) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシの防除後（5/27）、被害は少ない。

4) 今後の管理

「早期中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策として効果がある。6月9-10日にかけて早期中干しを行った。早期中干しは田面に細いヒビが入る程度とし、干し過ぎないように注意する。

早期中干し後は、浅水の間断灌水で管理し、根を健全に保つとともに分けつを促す。

半旬別気象図（高山市アメダス）

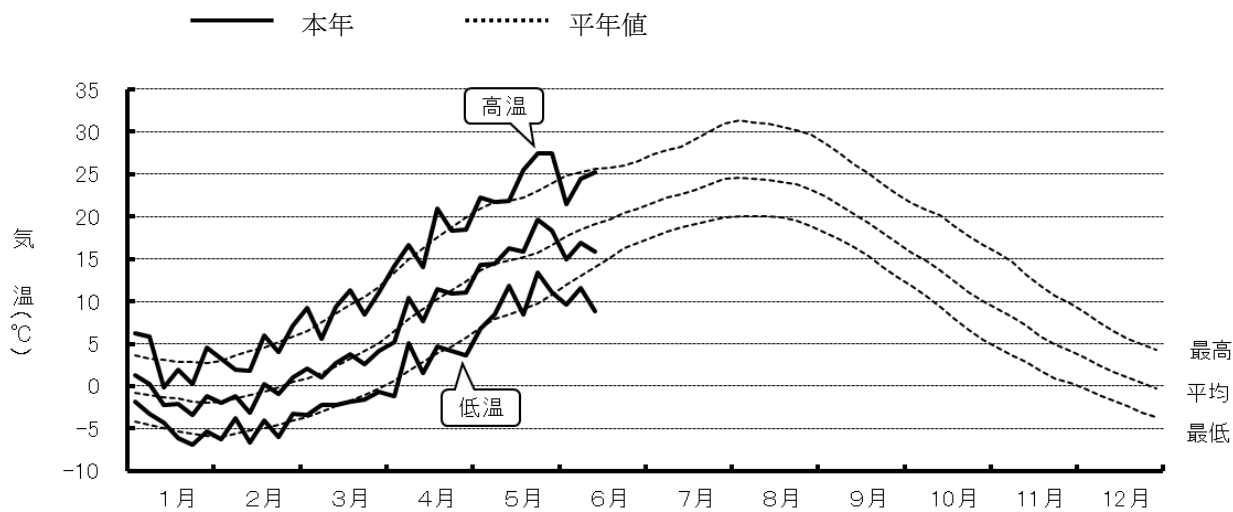


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

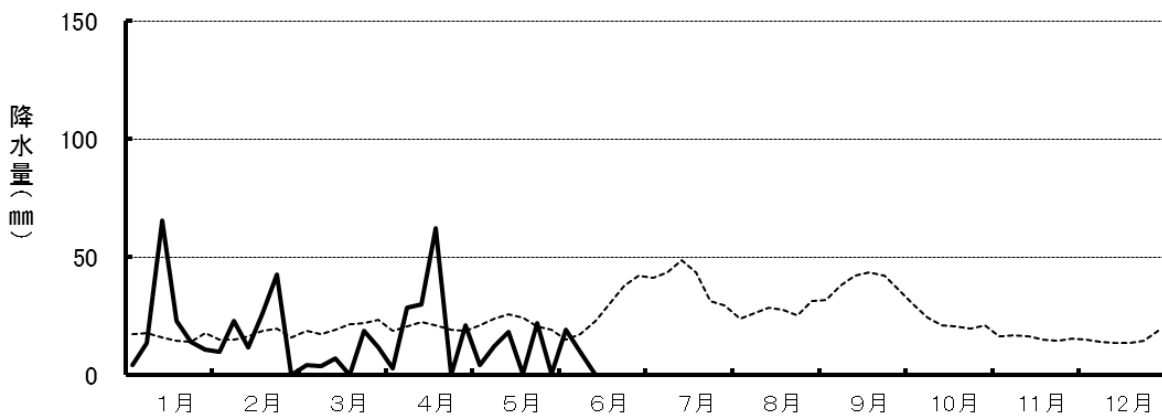


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

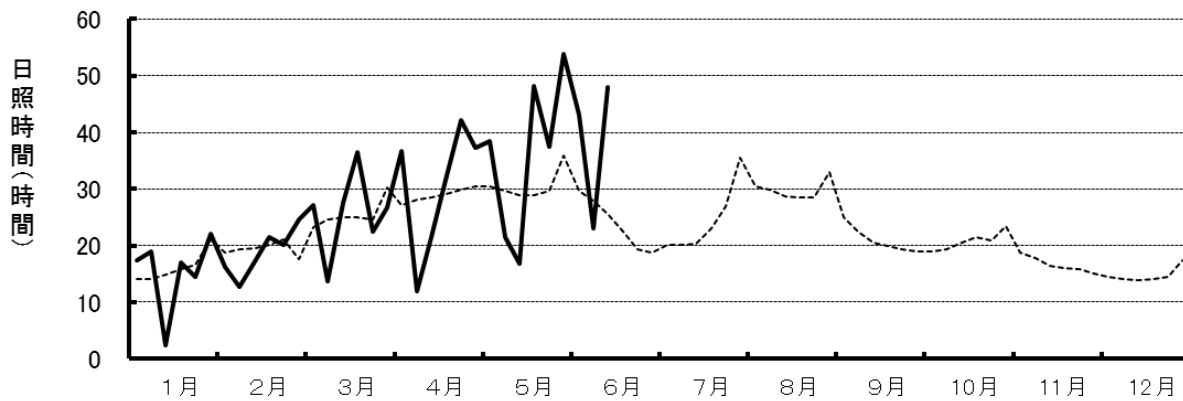


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)